

イザベル・カンピオン指導の“音楽家の為の運動療法” 10月開講

2015年8月14日

コンセール・パリ・トーキョウは、本年10月に“音楽家の為の運動療法 (kinesithérapie pour les musiciens)” の講座を開催致します。

講師のイザベル・カンピオン (Isabelle Campion) は、フランスの音楽家専門の運動療法士 (kinesithérapeute pour les musiciens) であり、ピアニストのミッシェル・ペロフやジャン＝エフラム・バヴゼの演奏機能回復に寄与したパリの「音楽家の為のクリニック “la Clinique du Musicien et de la Performance Musicale”」に所属しております。

カンピオンが所属する、パリの「音楽家の為のクリニック」は、フォーカル・ジストニアや腱鞘炎等のトラブルを持つ音楽家にリハビリを指導する場でもありますが、同時に、身体の構造を知って、より良い演奏法を習得したいと考える音楽家を指導する場でもあります。

フランスの演奏家は不調に気付くと、“音楽家の為の運動療法” の指導を受けます。日本では、“音楽家の為の運動療法” は未だ知られていない分野ですが、演奏の質向上の為に欠かせないものと考えまして、コンセール・パリ・トーキョウは2008年より、この企画を続けております。

注:フォーカル・ジストニアは、痛みを伴わない筋肉の不随意症状です。鍵盤楽器・弦楽器の場合は手に、管楽器の場合は口唇と手に現れます。

本年は、10月19日(月)から11月1日(日)の間に、ピアニスト及びピアノ指導者向けの2種類の新講座を含む7種類の講座を開講致します。

開講日時等の詳細は、8月下旬に発表致します。

1、「“音楽家の為の運動療法” グループ講座」(2009年よりの継続企画)

“音楽家の為の運動療法” の定番講座と云える講座です。

2、「フォーカル・ジストニアの方の為の2日間」(2015年創設講座)

好評を博した2012年と2013年の「フォーカル・ジストニアの方の為の1日講座」と、2014年の「フォーカル・ジストニアの方の為の半日講座」を発展させた講座。

2日間に、フォーカル・ジストニアの方の為に必要と思われることを盛り込みました。

- ① 1日目午前 「フランスに於ける“フォーカル・ジストニア”のリハビリ治療最前線」
(定員15名)
- ② 個人的指導：1名分1コマ50分 (定員5名)
1日目午後 フォーカル・ジストニアの方への個人的指導 2名分
2日目午前 フォーカル・ジストニアの方への個人的指導 3名分
- ③ 2日目午後 「エクササイズ等の復習」 (定員10名)

②を受講される方には、①と③の受講をお勧めしますが、②のみの受講も可能です。

①、②、③は、それぞれ別料金です。

* ②を受講される方は、下記の条件を承諾された方のみとさせていただきます。

ご自身への指導時間帯に、他の受講者を見学者として受け入れること。

(見学者人数は3名程度)

3、「全ての演奏家の為の“アトリエ”」(2012年よりの継続講座)

2012年から毎年開講し、演奏家の方々から好評を博している講座です。

楽器演奏する際に、より良く身体を使えるようになる為のエクササイズを実践する講座。

このエクササイズは、トラブルの予防手段にもなり、また、痛みや腱鞘炎の治療の一つの手段にもなるものです。

4、「管楽器奏者の為の“アトリエ”」(2014年開設講座)

「全ての演奏家の為の“アトリエ”」が好評であったことから、管楽器に特化した“アトリエ”を開設。今年も開講致します。

5、公開指導講座「“音楽家の為の運動療法”の役割とは何か？」

～フォーカル・ジストニアから演奏復帰した演奏家への指導を通して見えてくるもの～
(2013年よりの継続講座)

「“音楽家の為の運動療法”って、どんなことをやるの？」と興味をお持ちの方々の為に、2013年に開設した講座です。モデル受講生への指導を実際に見ていただきます。この講座に参加されることに依り、“音楽家の為の運動療法”は、トラブルの有る演奏家に有効なりハビリとなると同時に、トラブルの無い演奏家の演奏向上に繋がる合理的なメソッドであることをご理解いただけることと思います。モデル受講生は、一昨年、昨年に引き続き尾上昌弘氏。フォーカル・ジストニアから演奏復帰を果たしたクラリネット奏者です。

6、「ピアニストの為の“アトリエ”」(2015年創設講座)

多くの方からのご要望に応え、ピアニストに特化した“アトリエ”を創設致します。

7、「“音楽家の為の運動療法”を用いたピアノの指導法」(2015年創設講座)

生徒さんがトラブル無く上達するように指導する方法を知ることが、教師にとって非常に大切なこと。その方法について、“音楽家の為の運動療法”の見地からカンピオンがアドバイスを致します。ピアノを教えていらっしゃる方、必見の講座です。

《イザベル・カンピオン (Isabelle CAMPION) プロフィール》

運動療法士、アマチュアチェリスト。

楽器演奏時に苦痛を伴う多くの演奏家の治療に当たっている。

2000年より演奏家のパフォーマンスや健康に焦点を当て、運動医学を専攻、また芸術医学のディプロムを取得。2002年より「音楽家の為のクリニック」la Clinique du Musicien et de la Performance Musicale」勤務。そこで演奏家の職業疾患とその予防、テクニックや音楽表現のための動作の最適化、“あがり”の克服の研究、指導をしている。また、フランス国内外での講演会、オーケストラ、音楽教育機関でのトレーナーとしての活躍など、音楽に関する活動に大きな情熱を注いでいる。

日本では、2009年よりコンセール・パリ・トーキョウ企画の講座で講師を務め、2010年からは毎年、東京藝術大学に於ける特別講座の講師を務めている。

コンセール・パリ・トーキョウ 野瀬百合子